

『宇宙×スマートシティ』 ―衛星データ利用ワークショップ 2021― アイデアソンについて

JAXA は、2021 年度打ち上げ予定の先進光学衛星「だいち 3 号」(ALOS-3) のデータを利用した新規事業の創出、事業者の開拓を進めています。今回、「スマートシティ」をテーマとし、九州大学箱崎キャンパス跡地におけるまち(スマートシティ)づくりにて掲げられている「FUKUOKA Smart EAST (※1)」に着目しながら、衛星データの利活用による、地域課題の解決に向けたビジネスアイデアの創出及び宇宙ビジネスへの新規参画の促進を目指しアイデアソンを実施しております。

なお、本アイデアソンでは、福岡市にある九州大学箱崎キャンパス跡地のまち(スマートシティ)づくりにて掲げられている「FUKUOKA Smart EAST」に着目し、衛星データの利活用が想定される「健康」「防災」「エネルギー・環境」「買物・観光」の分野から地域課題を導出し、その解決につながるビジネスアイデアの検討を進めております。(※2)

【参考：FUKUOKA Smart EAST における 11 の分野別サービス例】



※1  **FUKUOKA Smart EAST** とは

少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら持続的に発展していくため、最先端の技術革新の導入などによる 快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるモデル都市を創造していくまちづくりの考え方で

※2 本アイデアソンにおける評価は、「九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりに係る土地利用事業者公募」とは一切関連するものではありません

以上